

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-83767

⑬ Int. Cl.<sup>1</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)5月28日

B 60 R 13/04

Z-7626-3D

B 62 D 25/20

6631-3D

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 プレート取付構造

⑯ 実 願 昭60-175905

⑰ 出 願 昭60(1985)11月15日

⑱ 考 案 者 谷 野 雅 春 豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内  
 ⑲ 考 案 者 岩 本 修 豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内  
 ⑳ 考 案 者 山 口 靖 彦 横須賀市田浦港町無番地 関東自動車工業株式会社内  
 ㉑ 出 願 人 トヨタ自動車株式会社 豊田市トヨタ町1番地  
 ㉒ 出 願 人 関東自動車工業株式会 横須賀市田浦港町無番地  
 社  
 ㉓ 代 理 人 弁理士 松山 圭佑 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 同方向に複数に分割された突出片を備え、該突出片がボディパネル側の取付孔に嵌入される時、該取付孔の孔縁に前記突出片の外側係止部が係止されて取付孔からの抜脱が規制される取付用グロメットと、この取付用グロメットが一体形成されるプレートと、前記取付用グロメットに貫通形成された取付ねじ孔に螺合され、前記複数の突出片の前記取付孔への嵌合状態を維持する取付ねじとから構成されるプレート取付構造において、

前記取付用グロメットの複数の突出片は薄肉のリップにより連結されてなるプレート取付構造。

(2) 前記薄肉のリップは前記取付ねじ孔の孔縁に沿って形成されてなる実用新案登録請求の範囲第

1項記載のプレート取付構造。

図面の簡単な説明

第1図はこの考案に係るプレート取付構造が適用されたスカッフプレートを示す斜視図、第2図はこの考案に係るプレート取付構造の実施例を示す、第1図II-II線に沿う断面図、第3図は同実施例における突出片及びリップを示す一部切り欠き拡大斜視図、第4図は従来のプレート取付構造を示す第1図II-II線に相当する断面図、第5図は従来の取付用グロメットを示す一部切り欠き拡大斜視図である。

1……突出片、2……ボディパネル、3……取付孔、4……外側係止部、5……取付用グロメット、6……プレート、7……取付ねじ孔、8……取付ねじ、10……リップ。

実開 昭 62-83767(2)

